

素晴らしい絵画や音楽は、心を豊かにしてくれるもの。アーティストのメッセージが刻まれた作品に触れると、新しい発見ができそうですね。読売テレビが主催する、この冬とっておきのアートをお届けしましょう。

「ミュシャ財団秘蔵」ミュシャ展  
プラハからパリへ 華麗なるアール・ヌーヴォーの誕生

日本初公開作品を含む240点を紹介

1860年、現在のチェコ共和国に生まれたアルフオン・ミュシャは、独創的な作風と、アール・ヌーヴォーの巨匠の一人として、日本でも人気が高い叙情画家。そんな彼の作品を一室に集めた、「ミュシャ財団秘蔵 ミュシャ展 プラハからパリへ 華麗なるアール・ヌーヴォーの誕生」が開催されます。

ミュシャは、ミュンヘンやパリの美術アカデミーで学んだ後、1884年、当時の伝説的な女優、サラ・ベルナルのポスター「ジスモンダ」を制作し、一夜にしてスターダムにのし上がります。その後、しなやかな曲線美を持つ優雅な女性、色どりの花や植物をモチーフに、装飾性豊かなポスターなどを制作し、やがて彼は、活躍の場をアメリカに移し、名声を不動のものとし、そのとき、同じスラブ出身のスメタナ作曲の「わが祖国」を聞いた彼は、この曲の翻弄される歴史と戦い続けるかのような旋律に心奪われ、自ら祖国へ帰ります。その後は、民族性の濃い作品を描き、新境地を開きました。

今回は、ロンドンのミュシャ財団の全面的な協力を受けて開催される本格的な展覧会で、約100点の日本初公開作品を含む、240点が紹介されます。主な作品に、代表的なポスターや版画のほか、これらの下絵となったデッサン・水彩画、そして、油彩画、彫刻・装飾美術などが、初期から晩年に至るまでの、彼の心の在り方に呼応するかのように変遷する画風も見所のひとつ。ミュシャ芸術の神髄に触れられるチャンスです。



「ジスモンダ」のポスター 1894年 ©Mucha Trust 2004

開催DATA

会期 2006年1月29日(日)まで、月曜と12月31日(土)休(12月26日、1月2日・9日は開館)  
開館時間 午前10時30分~午後7時30分(入場は7時まで)  
会場 サントリーミュージアム[天保山] (地下鉄大阪港駅歩5分)  
料金 大人1000円ほか  
問い合わせ サントリーミュージアム[天保山]  
☎06(6577)0001  
http://www.suntory.jp/SMT/



「ボヘミアの唄」1930年頃 ©Mucha Trust 2004

ミュシャ展 & ショパンコンクール凱旋コンサート  
アーティストが紡ぎだす  
数々の作品に魅了されて

第15回 ショパン国際ピアノコンクール入賞者によるコンサート  
Withワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団

注目の若手ピアニストが奏でる迫力の旋律

5年に一度ポーランド・ワルシャワで開催される「ショパン国際ピアノコンクール」。日本はもとより、世界でも有名、かつ歴史あるコンクールで、多くの若手ピアニストを誕生させて

います。「第15回 ショパン国際ピアノコンクール」入賞者によるコンサート「Withワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団」では、同コンクール入賞者、オ

昌平ら、ショパンのノクターンやピアノ協奏曲などの演奏で、コンクール本選当日の熱気と気迫に包まれたステージをそのままに再現、観衆を魅了してくれ

ます。なかでも注目は、容姿技法ともにショパンの再来とも評される、20歳のラファウ・フレハッチ。1985年生まれの彼は、5歳から

ピアノを始め、音楽学校を卒業、現在は音楽大学で学んでいます。ほとんど無名に包まれて、冬のひとつきを過ごしてみませんか。



ピアノ演奏の素晴らしい若手ピアニスト、甘いマスクも魅力的なラファウ・フレハッチ

開催日時 2006年1月27日(金)午後7時30分開演  
会場 フェスティバルホール(地下鉄肥後橋駅歩1分)  
料金 S席9500円、A席7500円、B席5500円、C席3500円、D席2500円、BOX席1万1500円(全席指定)。\*チケットは、フェスティバルホールPGなどで発売中  
問い合わせ フェスティバルホール  
☎06(6231)2221  
http://www.festivalhall.jp